

令和4年度 大洗研究所総合訓練における課題対応について
（「課題と対策」）

1. 概要

令和4年12月20日に実施した訓練の結果を踏まえ、課題を抽出し、対策の検討を行った。検討結果の概要は以下のとおり。

| No. | 抽出した主な課題等 | 区分 | 対策 |
|-----|--|------|------------------|
| 1 | 手書きで記載する事象進展対策シートは、記入する内容が多い場合に記入する文字が小さくなり、ERC側では書画装置に表示されるシートが読みにくかった。 (現地対策本部) | COP | ・様式の見直し、他 |
| 2 | 初動時における「事故・施設の現状」をERCへ情報共有する際、整理して分かりやすく伝えることができていない。(機構対策本部) | 情報共有 | ・報告すべき内容の再整理、他 |
| 3 | ERCへ情報共有する際、事象の内容とその時刻をセットで報告できていない。(機構対策本部) | 情報共有 | ・発話者のフォローのルール化、他 |
| - | その他 | - | - |

2. 検討の詳細

(1) 現地対策本部

・問題点①

事象進展対策シートのうちの共通様式（例：SE01）への手書きの記入において、文字が小さく書画装置で見えにくかった。当該シートは、大洗研究所共通としてブランクの様式を使用しており、発災施設・事象に応じて手書きで記入することになっている。

【課題】

手書きで記載する事象進展対策シートは、記入する内容が多い場合に小さい文字で記入することになってしまい、書画装置において見やすい状態で示すことができない。

【原因】

正確な情報共有のため記載内容が多くなって小さい文字で記載したが、書画装置において確認できる大きさに記入することができなかった。

【対策】

- ①手書きで記入する事象進展対策シートについて、大きい文字で記載できるよう様式を見直す。
- ②発災事象に応じて手書きで対策を記入する事象進展対策シート（平時から備付資料として準備できないもの）については、初動段階では現状どおりは手書きしたもので情報共有するが、その後でPC上で清書した事象進展対策シートを用いて情報共有することをルール化する。

(2) 機構対策本部

・問題点①

初動時において、HTTRの状況をERCへ説明する際、内容を整理できておらず断片的な情報共有となった。その際、書画装置を用いて複数の資料を一方的に説明し続けたため、ERC側の理解を得られなかった。

【課題】

初動時における「事故・施設の現状」をERCへ情報共有する際、整理して分かりやすく伝えることができていない。

【原因】

- ①初動時における「事故・施設の現状」としてはどのような情報を提供すべきか具体的に事前整理ができていない。
- ②複数の資料を説明する必要がある場合は次の資料の説明に移る際に、「ここまでよろしいか？」とERC側の理解を確認する基本動作が十分身についていない。

【対策】

①初動時における「事故・施設の現状」としてERCへ報告すべき内容を以下のとおり再整理するとともに、具体的な発話例を「発話ポイント」に明記する。

- ・事象発生前の稼働状況 : (発話例) 定格出力30MWで運転していた。
- ・現在の稼働状況 : (発話例) 地震により原子炉がスクラム。
- ・警報の有無 : (発話例) 地震発生前から「一次冷却材放射能高警報」が吹鳴しており原因調査中。
- ・電源の状態 : (発話例) 地震により商用電源が喪失し非常用発電機が起動。
- ・付属設備の状況、その他 : (発話例) 商用電源断により主冷却設備が停止したが、非常用発電機からの給電により補助冷却設備は稼働中。

上記内容については、情報整理担当者が整理して伝達することで発話者を補佐する。

②発話者に対して再教育を行うとともに、今後の訓練を通じて習熟を図っていく。

・問題点②

負傷者発生に伴う救急車要請や地震発生に伴う安否確認の結果等をERCへ説明する際、その実施時刻を併せて情報共有することができていなかった。

【課題】

ERCへ情報共有する際、事象の内容とその時刻をセットで報告できていない。

【原因】

- ①事象の内容とその時刻はセットで報告するという基本動作が十分身についていない。
- ②ERC対応ブースとして発話者をフォローできていない。

【対策】

- ①発話者に対して再教育を行うとともに、今後の訓練を通じて習熟を図っていく。
- ②統括者及び情報整理担当者は、発話者が基本動作を踏まえた対応ができていないか意識し、実施できていない場合はフォローすることをマニュアルでルール化する。

3. その他

(現地対策本部)

| No. | 課題区分 | 課題 | 原因 | 対策 |
|-----|------|--|--|--|
| 1 | 情報収集 | 訓練開始から SE01 発生までの間において、現場の放射線モニタ監視盤がたびたび無人になり、監視要員を配置していなかった。 | 放射線データ報告の都度確認していたため、監視要員を配置していなかった。 | 今後は、放射線モニタ監視盤へ監視要員を配置して対応する。 |
| 2 | 情報共有 | 機構 TV 会議上でプレス文の確認が実施され、その間、機構内の情報共有に支障が生じた。 | プレス文の内容の説明を丁寧にしたため、発生事象の情報共有を優先できなかった。 | 書画装置での読み合わせによる確認は、TV 会議による情報共有を阻害しないように実施する。 |
| 3 | COP | 遮へいのため建家外のフェンスに鉛シートを掛ける対策に関して、地震によるフェンス倒壊後の戦略の変更（フェンスに代わる構築物の準備）についてタイムリーに COP を更新して機構内に提供することができなかった。 | 復電予定時刻の情報があり、復電して復旧する対策の方に注視していた。 | 状況の変化を踏まえて、最新の COP 情報を修正して提供するよう、様式に注記する。 |

以上